

キャラクター名
藤宮 幽斗

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン		ワークス	UGN支部長A	カヴァー	剣術道場師範代
	ハヌマーン					
オプション			年齢	20	性別	男
覚醒	素体	衝動	破壊	初期侵食率	32	%
出自	結社の一員	経験	純粋培養	邂逅	自身	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	34
肉体	2	1	3			6	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	2	0	0			2	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	3	
運転：二輪	2		芸術：			知識：サイクリング	1		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：警察	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
両手剣(大太刀)	白兵	6r+1	3	10		
人符「現世斬」	白兵	8r+2	3	7		1R:1+2+3+4+5+6 2R~:2+3+4+5+6
60~79	白兵	9r+2	3	7		コスト:13 リアクション-1D C値8
80~99	白兵	10r+2	3	7		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
UGNボディアーマー		8			

所持品	
ウェポンケース	
携帯電話	
カジュアル	
フォーマル	
着物(制服相当)	
サングラス	
応急手当キット	

合計装甲： 8 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス：奇妙な隣人	P 同情	N 不快感		
育ての親	P 尊敬	N 劣等感		
終 美雪	P 信頼	N 不安		
斯道 将人	P 連帯感	N 食傷		
今映小夢(いまだぎ・こゆめ)	P 誠意	N 食傷		
比瑪坂 月華	P 有為	N 憐憫		
アイン	P 懐旧	N 悔悟		

最大財産P: 10 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
オリジン：ヒューマン	1	2	マイナー	-	自身	自動	5	
効果： 判定の達成値に+Lv								
コンセントレイト：ハヌマーン	2	2	メジャー	-	-	-	3	
効果： CT値-2								
疾風剣	2	2	メジャー	武器	-	白兵	5	
効果： リアクションの判定ダイスを-Lv個する								
吠え猛る爪	2	2	メジャー	武器	-	白兵	5	
効果： 装甲値無視。攻撃力-[5-Lv]								
一閃	1	2	メジャー	武器	-	白兵	1	
効果： 攻撃と同時に全力移動する。								
電光石火	1	3	メジャー	-	-	肉体	-	
効果： 判定のダイスを+[Lv+1]個増やす。メインプロセス終了後。HP1d6点する								
疾風迅雷	1	3	メジャー	-	-	対決	ピュア	
効果： ドッジ禁止								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

藤宮剣術道場の三代目師範。
先代、先々代の師範が謎の失踪を遂げたため、幼いながら彼が担ぎ出された。
だが、本人はまだ未熟なので師範代を名乗っている。
実は、道場には地下があり、そこがUGN門崎市支部となっている。

幽斗とはある組織で実験の素体として育つたために外界に触れることがなかった。
その組織では人工的にレネゲイドビーイングを作る研究をしており、当時その組織に協力していた真唯が提供した、体組織の一部を移植された。
しかし移植しても変化が何も起こらなかったため、失敗作として処分されそうになる。

そんな幽斗を助けたのが先々代の師範だった。以降息子として藤宮家に引き取られる。
その後はUGNでレネゲイドコントロールを学び、先々代から剣術を学んでいった。

コードネームの“折れぬ剣”とは、先々代がUGNの訓練を終えた幽斗に対して、「何があろうと、諦めずに貫き通すもの」という意味を込めてつけた。

普段は着物で生活をしているが、UGNとして動くときはサングラスにスーツを着る。
これは、日常と非日常とを明確に区別し、自分の中で切り替えるためのスイッチ、儀式のようなもの。

右のわき腹に「4」の入れ墨が入っている。
処分される時に記憶操作を受けたらしく、組織にいた時のことはほとんど覚えていない。